

鈴鹿サーキットとコンセプトを同じくするモビリティのテーマパーク 「SUZUKA CIRCUIT PARK」が台湾・高雄市に2016年5月9日(月)オープン



イメージパース



鈴鹿サーキットの約1/10のレンタルカートコース 建設中の様子
(3月30日撮影)

株式会社モビリティランドが「鈴鹿サーキット」のライセンスを提供し、台湾の大魯閣エンタテインメント股份有限公司が台湾・高雄市に建設、運営するアミューズメント施設「SUZUKA CIRCUIT PARK」と、当施設が併設される大型商業施設「大魯閣草衙道(Taroko Park Kaohsiung)」が、2016年5月9日(月)にオープンすることが決定しました。

SUZUKA CIRCUIT PARKには、鈴鹿サーキット国際レーシングコースと同じレイアウトの、全長約600mのコースを走るレンタルカートや、モビリティランドオリジナルの遊戯機種が導入されます。パーク内には、のりものを通して様々なチャレンジができる仕掛けが用意されており、鈴鹿サーキットの「ゆうえんちモトピア」の理念とノウハウが活かされています。

また、隣接のショッピングモールにはH&M、Guess、Nauticaなどのグローバルファッションブランドや、台湾南部最大規模のアップルストア(Studio A)、韓国ファッションブランドであるH:CONNECTが台湾南部に初めて出店するメンズ&レディースアパレルとカフェの複合旗艦店、そして各国料理、地元料理レストラン、特産品販売ショップなど、約200のテナントが入る予定で、台湾のライフスタイルにフィットする商業施設となります。

年間動員は施設全体で1,000万人を見込んでいます。

なお、開業日の5月9日(月)には同地でオープニングセレモニーが開催されます。

施設概要

施設名	大魯閣草衙道 (Taroko Park Kaohsiung)
アクセス	高雄国際空港より地下鉄高雄MRTで3分(草衙駅下車)
総面積	約86,000平方メートル
エリア構成	<ul style="list-style-type: none"> ・SUZUKA CIRCUIT PARK(次ページ参照) ・屋外型ショッピングエリア、レストラン ・3階建て商業棟(屋内外ショッピングエリア、レストラン) ・屋内アミューズメント(スポーツ施設、ファミリーアミューズメント、シネマコンプレックス他)
建設・運営	大魯閣開発股份有限公司(本社:台湾・台北市)

株式会社モビリティランド

東京オフィス 〒107-0062 東京都港区南青山1-15-9
鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992

TEL(03)5770-6432 FAX(03)5770-6435
TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568

E-mail media@mobilityland.co.jp
URL <http://www.suzukacircuit.jp/>



日本で初めてレーシングコースの名称・レイアウトを「輸出」 鈴鹿サーキットと同一レイアウトのカートコース

■1/10サイズの鈴鹿サーキット国際レーシングコース 日本で培った50年以上のノウハウを、海外へ

SUZUKA CIRCUIT PARKには、S字コーナーや立体交差、コースに隣接する観覧車といった、鈴鹿サーキット国際レーシングコースと同じ特徴を持つ、レンタルカート用のコース(全長約600m)が作られます。レーシングコースの名称とレイアウト、付帯のアミューズメントが海外の事業者へ「輸出」されるのは日本初であり、日本のモータースポーツ、レジャー業界にとって新しいビジネスモデルとなります。

鈴鹿サーキットは、50年以上前に日本で初めての本格的なレーシングコースとして誕生して以来、モータースポーツ文化、モビリティ文化の振興と発展を目指してきました。レースを核としたモータースポーツ・エンターテインメントを提供するとともに、子どもたちが自ら操れる乗り物を多数開発し、交通ルールやマナーを幼い頃から自然に学べる環境を作り上げ、今日に至っています。当社は、本パークにライセンスの使用を許可するだけでなく、理念と、長年にわたり培ってきたノウハウも提供し、台湾におけるモータースポーツ、モビリティ文化の振興、発展を目指していきます。



最終コーナー、シケイン近くに立つ観覧車



世界でも珍しい立体交差を持つレイアウトをSUZUKA CIRCUIT PARKでも再現

テーマは「チャレンジ!」子どもの成長を見られる遊園地

■「操る喜び」を感じられる、オリジナルののりものを導入

SUZUKA CIRCUIT PARKでは、これまで当社が開発し、鈴鹿サーキットに導入してきたオリジナルののりものを楽しめます。これらののりものはお子さまが自ら操るため、ときには思い通りに動かせないこともありますが、何度もチャレンジして成功することで、大きな達成感を得ることができます。

のりものの導入にあたっては、設計から製造、動作確認、実際の運転操作や乗り場での演出、整備に至るまで当社がコンサルティング。安全・安心であることはもちろん、遊びを通してモビリティの楽しさや交通ルールに触れ、「操る喜び」を感じられる鈴鹿サーキットのゆうえんち「モートピア」と同じコンセプトで、お子さまの成長に寄与し、クルマやバイク、モータースポーツへの憧れを醸成します。

モビリティランドがコンサルティングし、SUZUKA CIRCUIT PARKに導入される予定の機種



キッズバイク



アクロX



ドリフトS



ドリフトキッズレーサー



チクタクトレン



コチラドライビングスクール

※写真はすべてイメージのため、実際のものとは異なります
また、一部機種は現在の鈴鹿サーキットゆうえんちモートピアでは導入されていません

株式会社モビリティランド

東京オフィス 〒107-0062 東京都港区南青山1-15-9
鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992

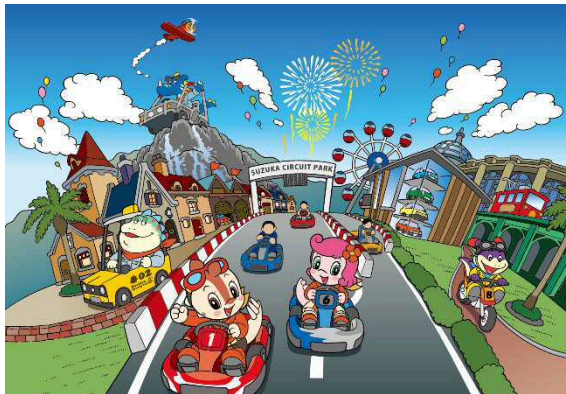
TEL(03)5770-6432 FAX(03)5770-6435
TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568

E-mail media@mobilityland.co.jp
URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

コチラファミリーがSUZUKA CIRCUIT PARKでもお出迎え 手塚ファミリーの鉄腕アトムも駆けつけ、パークを盛り上げる



■コチラファミリーのパフォーマンスで、鈴鹿サーキットと同じ世界観を演出
大人も子どもも楽しくなれる空間に



SUZUKA CIRCUIT PARKで遊ぶコチラファミリーのイメージイラスト

SUZUKA CIRCUIT PARKでは、日本の鈴鹿サーキットと同じくコチラファミリーが登場し、大人も子どもも楽しめるパフォーマンスを披露します。

すでに、台湾の国際旅行博など様々な場所でコチラたちは活動しており、台湾国内でも人気を集めています。

また、コチラファミリーの生みの親である手塚プロダクション（東京都新宿区）からは、期間限定で鉄腕アトムがコチラたちを応援。コチラファミリーと鉄腕アトムの合同パフォーマンスやコラボグッズの販売などが予定されており、ともにSUZUKA CIRCUIT PARKを盛り上げます。



2015年10月 台湾・高雄市の国際旅行博(ITF)で
SUZUKA CIRCUIT PARKをPRするコチラ(右)とチアラ(左)



同じ手塚ファミリーの鉄腕アトムとのコラボイラスト

「コチラ」、「コチラファミリー」について

コチラは、1979年に漫画界の巨匠手塚治虫先生によって生み出された宇宙恐竜です。モデルは、Hondaの創業者である本田宗一郎を支え、本田と共に鈴鹿サーキットの開設に尽力した藤沢武夫で、藤沢は“真っ赤な顔”“大きな声”で火を噴くように怒るのが多かったことから、「ゴジラ」というあだ名が付いていました。その異名から、手塚先生がコチラを発想し、生み出したと言われています。

現在では「コチラ」の生誕20周年を機に一般公募で生まれた「チアラ」「バット」「プート」「ピピラ」というキャラクターと一緒に、「コチラファミリー」として活躍しています。



コチラファミリー（左からコチラ、チアラ、バット、プート、ピピラ）

©Tezuka Productions

株式会社モビリティランド

東京オフィス 〒107-0062 東京都港区南青山1-15-9
鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992

TEL(03)5770-6432 FAX(03)5770-6435
TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568

E-mail media@mobilityland.co.jp
URL <http://www.suzukacircuit.jp/>



併設されるショッピングモール 「大魯閣草衙道(Taroko Park Kaohsiung)」 台湾南部のライフスタイルにフィットする商業施設

■高雄国際空港から1駅の好アクセス 台北駅からおよそ90分

SUZUKA CIRCUIT PARKが入るショッピングモール「大魯閣草衙道(Taroko Park Kaohsiung)」は、高雄国際空港から地下鉄(高雄MRT)で1駅の草衙駅に近接し、最寄りの高速道路出口からは250mと、公共交通機関、マイカーともにアクセスの良いエリアに位置します。台北駅からも台湾新幹線を利用すればおよそ90分で行くことができ、国内外から多数の来客が期待されています。



草衙駅出口からのアクセスイメージ(上)と大魯閣草衙道の所在地(左)



■台湾初の大型複合スポーツ施設、シネマコンプレックスをもつ総合エンターテインメント施設

モール内の大型複合スポーツ施設「WeSport」は、メインショップとしてフィットネス、バットニングセンター、ボウリング、バスケットボールなど様々なスポーツに挑戦できるうえに、スポーツウェアや用品ショップを完備した台湾初のスポーツテーマパークです。

また、シネマコンプレックスは、最先端のテクノロジーによる美しい映像とクリアなサウンド、座り心地にこだわった椅子、見やすく迫力のある大型で広角のスクリーンなど、理想を追求した映画館です。

台湾南部最大の商業施設としてオープンする大魯閣草衙道(Taroko Park Kaohsiung)は、SUZUKA CIRCUIT PARKとともに、これまでの台湾にはなかったエンターテインメントを提供いたします。



ショッピングモール入口 イメージパース



ショッピングモール入口 イメージパース

株式会社モビリティランド

東京オフィス 〒107-0062 東京都港区南青山1-15-9
鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992

TEL(03)5770-6432 FAX(03)5770-6435
TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568

E-mail media@mobilityland.co.jp
URL <http://www.suzukacircuit.jp/>